

ISOですぐに成果を出すための鉄則

ISOは「実行」

ISOマネジメントを「何とかしたい」、
経営者、部課長、ISO事務局、
内部監査員リーダーのための
「実行」バイブル

L.M.J.ジャパン主任講師 **青木 明彦**

「実行」こそが成長の最重要課題！
いくらISOで立派な方針を掲げても「実行」が伴わないと無意味！
現場をよく知り、「実行」を根付かせてきた著者が、組織が実行力を高めるにはどうすべきか、その鉄則・ノウハウを図解で440頁にわたり惜しげもなく解説した、経営者、実務者のための「実行」バイブル。

発行元：株式会社 L.M.J. ジャパン

ISOは「実行」

ISO マネジメントを「何とかしたい」
経営者、部課長、ISO 事務局、内部監査員、
リーダーのための「実行」バイブル

- 著者：IRCA 登録プリンシパル審査員 **青木 明彦** 440頁(A5)
- 価格：¥3,850 税込(送料198円)
- 発刊元：(株) L.M.J. ジャパン

いくらISOで立派な方針を掲げても

「実行」が伴わないと無意味！

「実行」こそが成長の最重要課題！

現場をよく知り、「実行」を根付かせてきた著者が、組織が実行力を高めるにはどうすべきか、その鉄則・ノウハウを図解で440頁にわたり惜しげもなく解説した、

経営者、実務者のための
「実行」バイブル！

3-11 品質マネジメント(QM)と品質保証(QA)

【疑問】縦軸QMで、横軸QAと分けると理解しやすくなると思いませんか？

10-44 不適合から原因を深掘りして遡る

【疑問】不適合と言われて指摘されても気持ちよく改善できますか？

- 適合性監査は、手順が正しい前提で記録で遵守を検証する。
・記録から不適合が見つかったと**監査が終了**？
- 有効性監査は、品質データから弱点を追究して問題の原因を追跡する。
・不適合が発見された時点で**監査がスタート**？

ページの一例 →



L. Marvin Johnson & Associates, Inc.
Pioneer & World Leader
In Auditor Training
Since 1959

ISO 審査員養成研修機関(品質/環境/食品安全/労働安全/情報)

株式会社 **L.M.J. ジャパン**

L. Marvin Johnson & Associates, Inc. Japan

東京研修センター：〒113-0033 東京都文京区本郷 1-11-14
本社：〒413-0033 静岡県熱海市熱海 1739-34

■お申込み・お問い合わせ

TEL:03-3868-0955

FAX:03-5842-6691



■E-mail：scarlet@lmj-japan.co.jp

■HP：https://www.lmj-japan.co.jp

内容のご紹介

大手優良グローバル企業の品質保証部長として長年 ISO9001 の運用と改善に関わり、現在はその経験を活かし ISO 審査員養成機関である L.M.J ジャパンにて主任講師を務めていた著者が、ISO を効果的に「実行」するための考え方やノウハウ等をまとめた 1 冊。単なる規格解説ではなく、ISO に関わる人々が長年持っている「疑問」と、その疑問を解消し、実行するための考え方やノウハウ等を、さまざまな事例やイラスト等を交えて掲載したページ構成で、読みやすく、わかりやすく、そしてすぐに「実行」に役立つ内容となっております。これから ISO の認証取得を目指す組織の皆様はもちろん、ISO の効果的な運用にお悩みの経営者、ISO の実務者の皆様には是非お勧めの 1 冊です。

■ 各章の内容

<p>第1章 ISO 第三者認証を振り返る</p> <ul style="list-style-type: none"> 2007年日本の神話が崩れた年 ISO9001:1987年版の導入目的 経営トップがISO/QMSに不満 ISO9001:2015年版を理解する方法 要求事項を業務の流れに合わせる 組織にISO9001の専門家が必要 プロセスの特定方法に問題 <p>第2章 既存のQMSを改善する</p> <ul style="list-style-type: none"> 経営者層の期待と不満を聞く 管理者層のQMS疑問を解消する ISO事務局の役割を変える 内部監査員の監査技術を向上 <p>第3章 品質マネジメントシステム</p> <ul style="list-style-type: none"> ISO9001:2015年版の意図 管理者にQMS改訂の責任を持たせる 利益向上に機会とリスクが必須 管理するリスクの特定方法 日本の「会社法」にリスク管理を適用 品質マネジメント(QM)と品質保証(QA) キーワードを繋いでQMS全体を把握 階層別のQMS軸足(箇条番号) 市販されている汎用計測器の管理 社内設計の専用計測器 <p>第4章 手順書と記録の文書体系</p> <ul style="list-style-type: none"> ISO9001:2015年版の利用価値 外部文書の最新版入手と周知 手順書を作成する細かさが異なる 業務フローチャートの作成ポイント 経営トップが品質ゲートに関与 品質保証フローチャート(組織全体) 業務フローチャートと帳票(各プロセス) 課員に帳票で業務を指示 <p>第5章 コミットメントとリーダーシップ</p> <ul style="list-style-type: none"> 経営トップが意図するQMS戦略 経営トップのリーダーシップ 品質情報のエスカレーション マネジメントレビューの議題と報告内容 事業活動の社会的責任を果たす 	<p>第6章 年度方針と品質目標</p> <ul style="list-style-type: none"> 組織の課題が中期計画と年度計画 品質実績データから年度目標を設定 重点課題に合致した目標値を設定 課員に業務を指示するポイント 管理者の方から課員に声掛け 課員の前で業務の愚痴を禁止 <p>第7章 社員の人材育成</p> <ul style="list-style-type: none"> 業務を遂行する力量と認識 課員の教育・訓練記録 社内教育・研修の効果を測定 課員には、組織の擁護で教育 社内研修を行う講師の力量 管理者のマネジメント教育が不足 <p>第8章 製品実現化の品質保証</p> <ul style="list-style-type: none"> 新規技術・要素確立の研究・開発 製品の事業審議(品質ゲート) 顧客の追加要求や変更依頼を管理 法規制をプロセスの帳票で遵守 過去のトラブル事例が使えない 外部提供者の評価・選定 事前協議で問題を解決 品質データの信頼性を見抜く 特殊工程の妥当性確認を重視 品質問題が発生する要因 ヒューマンエラーが起こる要因 補助材料の保管庫に着目 問題点の原因と対策が不一致 <p>第9章 監視、測定、分析、改善</p> <ul style="list-style-type: none"> 品質データの集計と分析の違い 顧客クレームの初期対応が肝心 是正処置と予防処置の違い <p>第10章 内部監査</p> <ul style="list-style-type: none"> 監査の分類と目的の違い サプライヤー監査の目的と役割 組織の問題も顕在化して対応 内部監査員の責任と権限 舞台俳優と映画俳優の違い 過去を指摘するより未来を検証 不適合を改善課題に変える質問 監査テーマに対する結論を報告
---	---

ご注文お申込書フォーム

Webでご購入の方 →→→



E-mail: scarlet@lmi-japan.co.jp

Tel: 03 - 3868 - 0955

数量	冊	送付先	〒			
会社名			部署名			
氏名			電話番号			FAX番号
メール			ご要望等			